

生産現場改善講座（札幌開催）

生産現場の問題点を捉え、改善に導く力と手法を学ぶ

研修期間	2025年7月15日（火）～7月17日（木）		
定員 / 受講料	25 名	/	32,000 円
日数 / 時間数	3 日	/	21 時間
研修会場	(独) 中小企業基盤整備機構 北海道本部 大会議室 (札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE 札幌ビル6階)		

対象者 製造業の管理者、新任管理者

- 現場改善リーダー
- IE技法を基礎から学びたい方

研修のねらい

生産現場の生産性向上は、企業の競争力確保のための重要なテーマであり、現場で発生するムダの正確な把握、的確な分析、改善策の立案とその推進の仕方を理解したリーダーの存在が求められています。

本研修では、生産現場のリーダーが理解しておきたい IE(Industrial Engineering) の実際の活用法を学び、生産現場の問題を的確に捉えて、効果的な改善策を立案し、改善に向けてチームを導く術を身につけます。また、研修のまとめとして自社の生産現場の問題の着眼に取り組み、習得した IE 技法をどのように活用していくかを考えます。

※この研修は製造業を対象としています。

研修の特徴

- 現場改善の責任者・リーダーが身につけておきたい手法を幅広く学びます。
- IE 技法を基本から学び、現場での実践力を身につけます。
- 自社の問題発見に効果的な IE 技法とその使い方を学びます。

カリキュラム概要

※カリキュラム内容は、都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

日付	時間	科目	内容	講師(敬称略)
7/15 (火)	9:50～10:00	開講式 オリエンテーション		合同会社 FRS コンサルティング 代表社員 古澤 智
	10:00～12:30	現場改善の意義と管理者の役割	生産現場の改善活動の意義を理解した上で、現場改善の基本を学びます。 ◆生産現場の生産性向上 ◆生産現場の管理者の役割 ◆「管理」と「改善」	
	13:30～18:30	現場改善の考え方と進め方	現場改善に効果的な技法について、活用事例等を交えて学びます。 ◆5S 活動と目で見える管理の実践ポイント ◆3ム（ムリ・ムダ・ムラ）退治 ◆方法改善と作業測定法	
7/16 (水)	9:30～12:30	IE 技法を活用した現場の問題の捉え方（演習）	生産現場の作業改善に欠かせない IE 技法を使用した現状把握から分析、問題点抽出、改善策の立案まで事例や演習を交えて実践的に学びます。 また、現状分析、問題の要因分析、改善案検討の改善活動ステップに応じた分析手法を学びます。 ◆IE 技法の活用法 ◆動作研究 ◆工程分析・稼働分析 ◆レイアウト分析・運搬活性化 ◆最新の技術動向と活用の仕方	
	13:30～18:00			
7/17 (木)	9:30～12:30			
	13:30～16:30	自社現場での活用（演習）	研修で学んだ内容を踏まえて、自社の生産現場での問題を洗い出し、改善策を検討します。 ◆現状の問題分析の仕方 ◆自社で活用できる IE 技法 ◆今後のアクションプラン作成	
	16:30～16:50	終講式		

講師紹介



古澤 智（ふるさわ さとし） 合同会社 FRS コンサルティング 代表社員

大学卒業後、総合電機メーカーで製品設計に従事。その後、中小企業支援センターにて様々な中小企業の支援に従事したのちコンサルタントとして独立。

技術経営、現場改善を得意とし、企業に寄り添う伴走型支援を重視する。